

花 菖 蒲

第36号

日本花菖蒲協会

THE JAPAN IRIS SOCIETY

2008

目次

巻頭カラー 富増 和彦氏作出品種

二つの花菖蒲展示会で得たもの

平成一九年「大船フラワーセンター」花菖蒲展示会報告

短歌五題

学校に花菖蒲を展示して鑑賞する試み

『花展』出展への道のり

花展メンテナンス(朝当番)をして

画像閲覧用データベースソフトの紹介

平成十九年度日本花菖蒲協会北海道研修旅行記

花菖蒲に魅せられて

花菖蒲の写真の撮り方

曾田の池のカキツバタ

「琴浦花菖蒲まつり」十周年を迎えて

特別展「花——太古の花から青いバラまで」を振り返って

平成十九年度秋の研究会報告

再び北野天使の故郷へ

熊本式花菖蒲陳列に見られる鉢作法

2007年度花菖蒲品種登録について

富増 和彦	1
椎野 昌宏	3
実行委員会	4
岡本 淳一	5
田淵 俊人	6
橋本 卓雄	10
金子 嘉明	13
石井 湜	15
村井 醇	18
山下 鉦夫	21
永田 敏弘	22
北 敏幸	26
山脇 信正	30
岩科 司	32
清水 弘	33
清水 弘	34
夢 勝見	36
富増 和彦	38

表裏表紙の写真解説

(表) 北海道別海町走古丹のノハナシヨウブ群落(撮影 永田敏弘)

ノハナシヨウブは一見地味です。しかし北海道の果てのような自生地での光景を目の当たりにすると、これで十分という気がします。過酷な自然のなかで精一杯咲く花が、このうえなく美しく思えます。そして自分からこの花のほうへ入ってゆけば、花のほうからも話しかけてくれます。その視線で、花に、そしてはるか昔からこの花を育てて来た自然に、深い感謝の心で写した一枚です。

(裏) 出羽の水無月 加茂文子画

一九八五年頃に描かれた加茂文子の作品。加茂文子は当協会名誉会長の加茂元照氏の夫人です。昭和後期に花菖蒲の水彩画を二十点あまり描きました。この作品は加茂元照氏が山形県長井市あやめ公園で無名品を撮影し、その写真をもとに描き、描かれた画の花に花銘を付けたものです。

日本花菖蒲協会役員

平成20年3月1日現在

顧問 戴谷 勤(宮崎大学農学部応用生物科学科 教授)

岩科 司(国立科学博物館筑波実験植物園主任研究官)

名誉会長 加茂元照

会長 椎野昌宏

理事長 清水 弘

理事 稲垣敏明

石井 湜

金子嘉明

小林 昇

小山章治

斎藤 憲嘉

佐々木雅純

武内暢宏

田辺 孝

橋本卓雄

福住康文

松下卓生

村井 醇

山脇信正

監事

石井もり子

金子キミエ